

地すべり事業(湯村地区)の効果について

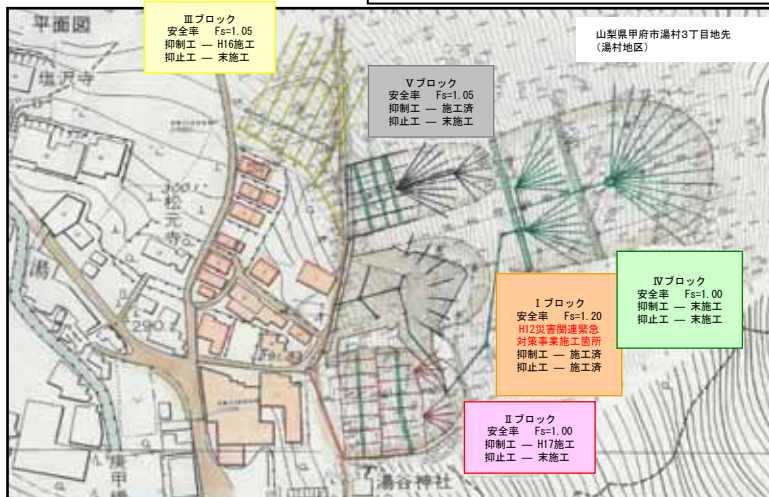
地すべり災害発生地域のフォロー対策の推進について

〈 山梨県 甲府市 湯村3丁目 地内 〉



事業概要

甲府盆地北部の湯村温泉背後地において、平成12年9月11,12日の記録的な豪雨後に地すべりが大滑動し、長さ100mにわたり土砂を流出させた。このため、地すべり地下方の民家は半壊状態となり、多大な被害を受けている。これを受けて、平成12年度地すべり災害関連緊急対策事業において応急対策工事を行い、平成13年度からは地すべり対策事業として平成22年度完成予定である。当該地の地形・地質条件としては、斜面勾配 $20^{\circ} \sim 30^{\circ}$ 程度の緩斜面であるが、斜面下部には民家が密集しており、安山岩の転石を含む崩積土が表面を覆っている。基盤層は安山岩質凝灰岩である。保全対象が近接し対象地域の民家に変状がみられるため、地すべり観測を継続するとともに、対策工事を進めていきたい。



湯村地区全景
及び災害状況



当該地区は県内でも有数の観光地であり、保全対象が近接しているため、今後社会経済的に極めて重大な被害の発生防止に貢献する！！

H12 災害発生時状況写真



災害関連事業 完成写真



湯村温泉街

湯村温泉通り